

令和2年度 学習案内 (シラバス)

教科	家庭	学年	2	担当者	鬼頭 佐由貴
----	----	----	---	-----	--------

◇ 家庭分野の目標

実践的・体験的な学習活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を習得するとともに、家庭・地域・環境とのかかわりについて理解を深め、学んだことを生活に生かせる能力と態度を育てる。

◇ 1年間の学習計画

月	学習内容	月	学習内容
11	<b>B 食生活と自立</b> 栄養素のはたらきと食品	6 7 9 10	技 術 分 野 の 授 業
12	中学生に必要な栄養 食事の計画		
1	日常食の調理 (肉・魚・野菜)		
2	食品の選択と保存		
2	<b>C 衣生活と住生活</b> 布を用いた物の製作		
3	住居の基本的な機能と住まい方 安全で快適な住まい方 災害に備えよう		

◇ 評価方法

評価の観点 (身に付けたい力)		評価の方法	%
生活や技術への関心・意欲・態度	生活や技術について関心をもち、生活を充実向上するために進んで実践ようとする	・作業の状況・製作品・授業態度・学習ノート・技能テスト	25
生活を工夫し創造する能力	生活について見直し課題を見付け、その解決を目指して自分なりに工夫し創造している	・作業の状況・製作品・授業態度・学習ノート	25
生活の技能	生活に必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている	・作業の状況・製作品・学習ノート・技能テスト	25
生活や技術についての知識・理解	生活や技術に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、生活と技術とのかかわりについて理解している	・製作品・定期テスト ・技能テスト	25

◇ 学習のアドバイス

自分の食生活をふり返り、食事の役割や健康への影響に関心を持ちましょう。栄養素や献立、食品等の学習を進めながら、膨大な情報の中から信頼できる情報を得、判断していく意識をつけます。裁縫や調理の実習は、少なくなるかもしれませんが、1年の知識・技能をさらにレベルアップできるように、学び合いや繰り返しの作業を大切に積み重ねていきましょう。住生活では、住まいを安全に工夫していく能力を高めていけるように、資料を確認しながら住宅の在り方や、高齢者の身体感覚の疑似体験学習の準備もしています。集中して取り組み、学んだことを実生活に生かせるようにしてください。